

## 平成23年度事業報告書

### 1. 事業の状況

1) 研究発表会、火災科学セミナー、講演討論会の開催

ア. 研究発表会の開催状況

研究発表会を次の通り開催した。

開催年月日	会場	発表項目・発表件数				参加人員
平成23年 5月16日 5月17日	東京理科大学 「森戸記念館」 (東京都新宿区)	ア. 燃焼性状 29	イ. 熱気流 17	ウ. 煙:毒性 14	エ. 構造・耐火 13	第1日 302人 第2日 335人 延 637人
		オ. 避難 11	カ. 広域火災 10	キ. 火災調査 10	ク. リスクアナリシス 10	
		ケ. 感知・消火 10	コ. 消防活動・技術 9	ク. 文化財防火 7	シ. 地震後避難 6	
		ス. 消火技術 6	セ. 避難シミュレーション 5	ソ. 避難検証 5	タ. 住宅火災警報 5	
		チ. ホスターセッション 3	ツ. 特殊火災 1	(オーガナイズトセッション14, ホスターセッション3)		
		発表件数合計 173件				

イ. 火災科学セミナーの開催状況

火災科学セミナーを次の通り開催した。

開催年月日	会場	参加人員	協力機関	主 題・テーマ
平成23年 10月21日	浦和コミュニティセンター (さいたま市浦和区東高砂11-1)	302人	さいたま市消防局	主題: 「複合災害(東日本大震災)を考える」 テーマ: 1) 東日本大震災から(災害はいつも予想外!) 2) 東日本大震災と原発問題 3) 東日本大震災とこれから
平成23年 10月28日	神戸市中央区 「神戸市産業振興センター(神戸市中央区東川崎町1-8-4)	332人	神戸市消防局	主題: 「広域巨大災害に対する備えと連携」 テーマ: 1) 広域巨大災害における災害対応課題と限界 2) 東日本大震災における火災発生状況 3) 地域コミュニティにおける安全への取り組み

ウ. 講演討論会

講演討論会を次の通り開催した。

開催年月日	会場	参加人員	主 題・基調講演
平成24年 1月25日	文京シビックホール (文京区春日1-16-21)	201人	主 題: 「なぜ火災で人は亡くなるか—火災時のガス毒性に関する諸要因」 基調講演: 1) 統計から見る火災による死者の実態 2) 被害側の要因—呼吸器系の観点から— 3) 被害側の要因—救急医療の観点から— 4) 被害側の要因—法医学の観点から— 5) 火災時の燃焼ガス発生等の被害側要因 6) 消防活動における環境

2) 学会誌・学術図書等の刊行

ア. 会誌「火災」の刊行状況は以下の通り。

巻	号	ページ数	特集記事等	発行部数
Vol. 6 1	No. 2	72 ページ	アジア火災事情-東京理科大学グローバルCOEの活動- (・「東アジアの火災GCOEニュース」、・バンガレーシユの首都ダッカ・ミナト地区の火災調査、・バンコク・クラブ「サティカ」の火災調査、・ダッカ高層ビル火災事例、・韓国・釜山ウシソゴールデンスイート超高層集合住宅の火災調査)	1,800部
同上	No. 3	58 ページ	消火設備の変遷と今後の動向 (・スプリンクラー設備の技術の変遷、・ガス系消火設備の今後の動向、・パッケージ型消火設備の変遷と今後の課題)	同上
同上	No. 4	64 ページ	東日本大震災における火災の特徴 (・東日本大震災における地震火災の全体像、・三陸沿岸市街地の津波火災の発生状況、・東日本大震災に伴う大規模火災の概要-山田町、名取市、石巻市-、・2011年東北地方太平洋地震における危険物施設の被害調査、・東日本大震災時の出火状況)	同上
同上	No. 5	64 ページ	自主防災組織の活性化と地域防災力の向上のために (・防災コミュニティの取り組み-阪神・淡路大震災の教訓-、・大阪市における地域防災力の向上にむけた取り組み-消火、救出救護に関する市民等の育成指導-、・大震災に備える自主防災組織の取り組み-東京都内の活動事例から-、・恵那市岩村町岩村本通り地区重要伝統的建造物群保存地区における自主防災活動)	同上
同上	No. 6	64 ページ	東日本大震災特集 (・東日本大震災と原発問題、・東北地方太平洋沖地震における浦戸諸島の被害状況と対応行動、・東日本大震災についての体験記(2))	同上
Vol. 6 2	No. 1	68 ページ	木造建築物の火災 (・木造建築物をめぐる規制と復権の動向と俯瞰、・実大実験に見る木造建築の火災時倒壊危険性、・木造建築物の火災現場における建物倒壊の危険性判定及び安全管理対策、・木造密集街区における火災防衛戦術、・木造(ツーバイフォー工法)耐火建築物の火災事例)	同上
合計	6巻	390ページ		

イ. 論文集の刊行状況は以下の通り。

巻	号	ページ数	論文名	発行部数
Vol. 6 1	No. 1	27 ページ	1) 信頼性解析技法を用いた消防活動時の事故未然防止に関する研究-残か処理を対象に- 2) ウォータミストによる噴流拡散火炎の消炎 3) 局所火災に対して耐火性能検証法が目標とする安全水準の分析と定量化	1,000部
同上	No. 2	35 ページ	1) 住宅・共同火災の統計的分析に基づく設計避難リスクの算出-火災安全設計における設計避難リスクに関する研究- 2) リスクの概念に基づく避難安全設計法に用いる火災成長率の分布の推定 3) メタゲノム解析によるゴミ固形燃料の微生物分布の推定	同上
同上	No. 3	10 ページ	1) 統計データに基づく用途別の避難リスクの算出-火災安全設計における設計基準避難リスクに関する研究-	同上
合計	3巻	72ページ		

3) 研究及び調査等の実施状況

7. 総務委員会関係

委員会名	構成	活動概要
国際対応専門委員会	(主査) 山田常圭 (幹事) 成瀬友宏 委員計 8 名	委員会を 1 回開催し、国際会議情報の収集と会員への情報提供、会誌「火災」に国際会議情報を掲載した。また、アジア・オセアニア地区研究者、韓国火災消防学会などとの連絡調整を図った。

4. 企画委員会関係

委員会名	構成	活動概要
制度検討小委員会	(主査) 村上研一 (幹事) 河野 守 委員計 4 名	企画委員会と合同で委員会を 6 回開催し新公益法人の定款、同定款にリンクした規程集の見直しを行い新公益法人移行後の準備作業などを行った。

カ. 学術委員会関係

委員会名	構成	活動概要
化学火災専門委員会	(主査) 田村昌三 (幹事) 中村 順 委員計 13 名	委員会を 3 回開催し、国内外の 19 件の事故事例を①化学物質火災の事例研究、②化学物質の火災危険性の観点から検討を行い、年度ごとに起る最新の事例を比較検討した。また、東日本大震災に関係する火災爆発事故の 3 件について検討した。
火災時の有毒ガス専門委員会	(主査) 成瀬友宏 (幹事) 高橋太、仲谷一郎 委員計 12 名	委員会を 4 回開催し、2012 年 1 月に講演討論会を開催し、「火災時のガス有毒の諸要因」講演した。また、ISO の活動状況報告及び火災死者の血中 CO ヘモグロビン濃度などの報告を検討した。
火災時の避難行動専門委員会	(主査) 萩原一郎 (幹事) 佐野友紀 委員計 12 名	委員会を 8 回開催し、①東日本大震災の東北地方での避難行動、②東日本大震災の都心部の避難行動、③避難行動予測に利用される基礎データ情報収集、整理方法の検討をした。
自動車火災専門委員会	(主査) 鈴木仁治 (幹事) 渡邊憲道 委員計 15 名	委員会を 3 回開催し、①東日本大震災の被災自動車調査を行い、被災実態を分析した。②ハイブリット・電気自動車事故実態状況を行った、③自動車の燃焼実験を行い、基礎資料を得た。
地震火災専門委員会	(主査) 北後明彦 (幹事) 廣井 悠 委員計 12 名	委員会を 9 回開催し、東日本大震災調査委員会WGとして、各種情報の収集と他の 8 つの専門委員会での調整役に努めた。
性能設計専門委員会	(主査) 田中哮義 (幹事) 山口純一 委員計 10 名	委員会を 5 回開催し、性能設計健全と安定的運用を目標に、火災安全設計フレームワーク構築を目指し、①避難安全・耐火設計許容リク設定手法、②スプリンクラー・煙制御・防火扉防災設備の作動・不動作シナリオを考慮した避難・許容リク設定条件手法、③火災成長率、④スプリンクラー設備作動時間、⑤居室避難検証等の検討、⑥23 年度研究発表会での発表などを行った。
火災原因調査の科学技術専門委員会	(主査) 萩本安昭 (幹事) 田村裕之 委員計 14 名	委員会を 5 回開催し、火災原因調査技術の向上を目標に、①東日本大震災出火原因の検討、②電気火災の基本事項の洗い出しと火災原因調査の判定法の検討、③火災調査の使用用語の統一と検討、④原因判定困難事例の検討などを主に活動した。
消火の科学技術に関する専門委員会	(主査) 齋藤 直 (幹事) 尾川義雄 委員計 9 名	委員会を 7 回開催し、①東日本大震災の消防設備被災状況調査を行い「中間報告書」に反映した、②23 年度研究発表会でオガナイズセッションで発表した。③今後の社会変化に対応した消火技術なども同時に検討を行った。
文化財建造物防災専門委員会	(主査) 長谷見雄二 (幹事) 土屋伸一 委員計 10 名	受託事業実行委員会と一体となり委員会を 6 回開催し、「文化財の確実な継承と地域活性化活用のための防災指針の作成と普及」を推進した。同時に、①文化財建造物の火災リク調査、②文化財の火災安全計画資料集、③文化財建造物の火災安全計画ケーススタディの調査、資料収集などを行った。

エ. 刊行委員会関係

委員会名	構成	活動概要
火災誌編集小委員会	(主査) 佐藤博臣 (幹事) 篠原雅彦 委員計 16 名	委員会を 12 回開催し、年 6 回刊行する会誌「火災」の企画、編集などに当たった。本報告書 2 ページに掲げた特集記事を組み火災等の災害などを報告した。また、火災誌の工程管理作成業務を外注発注した。
論文集編集小委員会	(主査) 土橋 律 (幹事) 堀田博文 委員計 9 名	委員会を 3 回開催し、投稿論文の検討、査読結果の審議を行い 4 月、8 月、12 月に「日本火災学会論文集」を 3 巻刊行した。また、(独) 科学技術振興機構が運営する J-STAGE に引き続き論文集の論文を逐次掲載を開始した。
ホームページ小委員会	(主査) 桑名秀明 (幹事) 平井弘毅 委員計 8 名、	各常置委員会選出の委員構成で、委員会を 4 回開催し、①各常置委員会担当業務の確認、②本会ホームページの移転・改修・会誌検索システムを構築し、運用した③ホームページ運営管理規程・要領変更(案)などを審議した。

オ. 時限委員会関係

委員会名	構成	活動概要
公益法人化実行委員会	(委員長) 佐藤研二 (副委員長) 長谷川晃一 (幹事) 堀田博文 委員計 7 名	委員会を 5 回開催し、公益社団法人電子申請向け申請書類の準備をし、2 回の内閣府への事前相談を経て、10 月 24 日電子申請をおこなった、その後、内閣府からの 2 回の補正・修正提出を行い。平成 24 年 3 月 9 日に内閣総理大臣の認定答申を受けた。
東日本大震災調査委員会	(委員長) 関澤 愛 (副委員長) 北後明彦 委員計 30 名	東日本大震災に対し、調査委員会WGを立ち上げ、9 回のWGを開催し、その結果を平成 23 年 11 月に「速報版」として DVD 及び Disc に収録して会員に配布した。又、会員希望者に有料で 1,030 ページに及ぶ報告書を 100 部作成し、配布した。
学生奨励賞選考委員会	(委員長) 佐藤研二 (幹事) 廖 赤虹 委員計 15 名	本年度は委員会を 2 回開催し、研究発表会でエントリーした 38 名に対し、事前審査と当日の発表に基づき審査を行い、5 名を選考し、学生奨励賞を授与した。

カ. 受託事業委員会関係

平成 22 年度に引き続き文化庁から「文化財の確実な継承と地域活性化活用のための防災指針の作成と普及」と題して委託があり、6 回の委員会活動と 3 回の文化財の実地調査等を実施し、受託事業の推進を図った。

委員会名	委員構成	事業概要
受託事業実行委員会	(委員長) 長谷見雄二 委員 計 8 名	諮問事項に対し、各種文化財の火災時例、防災設備の実態調査、文化財防災の各種情報の収集などを委員会活動で進め 3 回の文化財の実地調査を実施し、また、文化財建造物としての「一の湯」火災安全計画ケーススタディ策定に努め受託事業の推進を図った。

4) 業績の表彰及び研究の奨励

ア. 日本火災学会賞の授与

平成 23 年 5 月 16 日の通常総会において、平成 23 年度の日本火災学会賞を池田憲一君、大谷英雄の 2 名に授与した。

平成 24 年度の日本火災学会賞は、平成 24 年 1 月 30 日の学会賞選考委員会において大宮喜文君、森山修治の 2 名が選考され、平成 24 年 2 月 27 日の理事会に諮り、授与することを決定した。

受賞者氏名	研究題目
大宮 喜文	・建築物における延焼拡大およびその防止に関する一連の研究
森山 修治	・地下を始めとする都市建築活用の高度多様化に対応する煙制御・非難安全計画に関する研究

イ. 日本火災学会内田奨励賞の授与

平成 23 年 5 月 16 日の通常総会において、平成 23 年度の日本火災学会内田奨励賞を池島由華君、桑名一徳君の 2 名に授与した。なお、平成 24 年度の日本火災学会内田奨励賞は対象者なし。

ウ. 内田記念基金の研究助成金交付

平成 23 年 10 月 13 日に開催された研究助成選考委員会で名古屋大大学山本和弘君を代表とする研究グループが選考され、同年 11 月 28 日に開催された理事会で決定し、80 万円を交付した。なお、研究題目は以下である。

研究助成グループ	研究 題 目
代表者：山本和弘	・RCAモデルを用いた火災時の避難シミュレーションと安全性の評価

エ. 名誉会員称号の授与者の推薦 平成 23 年度はなし。

オ. 火災学会功労賞の授与 平成 23 年度はなし。

カ. 学生奨励賞の授与

平成 23 年度学生奨励賞は、38 件の応募に対し、学生奨励賞選考委員会により選考され、青山裕司君、足立格君、伊藤諭君、田揚裕子君、吉原直洋君の 5 名に対し学生奨励賞を授与した。

5) 関連学術団体との連携及び協力

ア. 安全工学シンポジウム及び燃焼シンポジウムなどの団体の事業と協賛又は後援をした。

イ. 日韓火災学会の協定に基づき、共同セミナーを東京で 5 月 16 日に東京理科大学開催し、主題を「可燃性断熱材の燃焼性状と火災事例」題して開催した。日本、韓国のそれぞれ 2 名により講演を行い、両国間の火災科学技術面の国際交流を図った。

ウ. 男女共同参画学協会連絡会にオブザーバーとして参画している。本年は平成 23 年 8 月 18 日開催した「女子中高生夏の学校 2011」行事のポスターセッションに参加し、本会の PR と情報交換に努めた。

2. 庶務の概要

1) 役員に関する事項

平成 24 年 3 月 31 日現在

役職名	氏 名	年齢	常勤・非常勤の別	就任年月日	年間給与(千円)	担当職務	法人以外での現職名	国家公務員出身者である場合の最終官職、退職年月等
会 長	佐藤研二	60	非常勤	H21. 5. 31	なし	法人代表	東邦大学教授	なし
副会長	田中哮義	63	非常勤	H23. 5. 31	〃	会長補佐	京都大学防災研究所教授	〃
常務理事	長谷川晃一	58	非常勤	H21. 5. 31	〃	総 務	能美防災(株) 部長	〃
常務理事	吉川昭光	54	非常勤	同上	〃	会 計	ヤマトプロテック(株)理事	〃
常務理事	山田常圭	57	非常勤	H23. 5. 31	〃	企 画	東京大学大学院特認教授	〃
常務理事	北後明彦	54	非常勤	H21. 5. 31	〃	学 術	神戸大学都市安全研究センター教授	〃
常務理事	板垣晴彦	50	非常勤	同上	〃	刊 行	(独)労働安全衛生総合研究所上席研究員	〃
常務理事	荒井伸幸	54	非常勤	H23. 5. 31	〃	普 及	東京消防庁部長	〃
理 事	池田憲一	55	非常勤	H21. 5. 31	〃		(株)清水建設グループ 長	〃
理 事	石井義明	57	非常勤	H23. 5. 31	〃		東京消防庁部長	〃
理 事	岡本勝弘	39	非常勤	同上	〃		科学警察研究所主任研究員	〃
理 事	鍵屋浩司	42	非常勤	同上	〃		国土技術政策総合研究所主任研究官	〃
理 事	高 黎 静	51	非常勤	同上	〃		千葉科学大学大学院教授	〃
理 事	佐野友紀	43	非常勤	同上	〃		早稲田大学准教授	〃
理 事	土橋 律	53	非常勤	H21. 5. 31	〃		東京大学大学院教授	〃
理 事	成瀬友宏	46	非常勤	同上	〃		国土技術政策総合研究所防火基準研究室長	〃
理 事	松山 賢	40	非常勤	H23. 5. 31	〃		東京理科大学総合研究機構准教授	〃
理 事	村岡 宏	45	非常勤	同上	〃		(株)大林組主任研究員	〃
理 事	村上研一	52	非常勤	同上	〃		東京消防庁消防学校長	〃
理 事	若月 薫	42	非常勤	同上	〃		消防兆校消防研究センター主任研究官	〃
監 事	大滝満則	53	非常勤	H23. 5. 31	なし	監事	損害保険料率算出機構室長	なし
監 事	笠原 勲	68	非常勤	同上	〃	〃	(株)音・環境研究所会長	〃
監 事	辻 利秀	60	非常勤	同上	〃	〃	ホーチキ(株)開発研究所所部長	〃

2) 職員に関する事項

平成 24 年 3 月 31 日現在

職 務	氏 名	就任年月日	担当事務	備 考
事務局長	中谷 彰二	H13. 4. 1	学会事務の総括	常 勤
パート事務員	渡邊英美子	H16. 4. 1	庶務・会員事務	非常勤

3) 役員会等に関する事項

ア. 理事会

開催月日	議 事 ・ 報 告 事 項	会議結果
平成 23 年 5 月 16 日 第 320 回	1. 平成 23・24 年度会長・副会長の互選 2. 平成 23・24 年度常務理事の選出 3. 平成 23・24 年度特別委員会(学会賞選考、内田委員会委員)選出	互選決定 承認 〃

平成23年 8月1日 第321回	1. 会員異動報告および会計報告 2. 公益化法人の進捗状況報告 3. 東日本大震災調査委員会の報告 4. 平成23年度研究発表会開催結果報告 5. 平成23年度内田基金研究助成応募(案)の審議 6. 平成23年度(財)鹿島学術振興財団研究助成推薦応募(案)の審議 7. 平成23・24年度委員会等委員の承認 8. 男女共同参画学協会中高生夏の学校参加承認 9. 平成23年度火災科学セミナー開催内容の審議 10. 平成24年度研究発表会関係の概要集代等改定の審議	報告 〃 〃 〃 承認 〃 〃 〃 〃 〃
平成23年 11月28日 第322回	1. 会員異動報告および会計報告 2. 新公益法人化電子申請内容の報告 3. 平成23年度火災科学セミナー開催結果報告 4. 東日本大震災「速報版」DVD化内容の審議 5. 平成24年度研究発表会電子申請投稿システムの委託契約の審議 6. 平成24年度研究発表会開催場所・日程等の審議 7. 日米ワークショップ覚書協定書の審議 8. 日本学術会議東日本大震災総合対策学協会への参画の審議 9. 平成23年度講演討論会実施内容の審議	報告 〃 〃 〃 議決 承認 〃 〃 〃
平成24年 2月27日 第323回	1. 会員異動報告および会計報告 2. 東日本大震災調査委員会経過報告 3. 平成23年度講演討論会開催結果の報告 4. 新定款改定の伴う規程・要領等の改訂作業の状況報告 5. 平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)の審議 6. 平成24年度学会賞受賞者の決定審議 7. 平成24年度選挙管理・役員候補者選考委員会委員の選出 8. 平成24年度顧問税理士委託契約の審議 9. 本会事務局整備基金使用用途計画内容の審議 10. 2012年度日韓火災学会共同セッション内容の審議	報告 〃 〃 〃 議決 〃 承認 〃 〃 〃
平成24年 4月11日 第324回	1. 会員異動報告 2. 公益社団法人認定及び登記手続きの報告 3. 税理士の第4四半期経理報告及び24年度顧問契約の報告 4. 平成23年度東日本大震災調査委員会活動報告 5. 2012年度日韓共同セミナー内容の報告 6. 公益法人日本火災学会定款変更案の審議 7. 平成23年度事業報告及び収支決算書の審議 8. 平成24年度総会次第案の審議 9. 日本学術会議東日本大震災の共同声明文の審議 10. 2012年度日米ワークショップ内容の審議 11. 平成24年度研究発表会プログラムの報告 12. 平成24年度行事・会議開催予定の審議	報告 〃 〃 〃 〃 議決 承認 〃 〃 〃 〃 報告 承認

イ. 常務理事会

常務理事会を平成23年7月21日、10月31日、平成24年1月30日、3月30日の4回開催した。

ウ. 通常総会

開催月日	議事・報告事項	会議結果
平成23年 5月16日	1. 定足数についての報告 2. 公益法人認定申請の件 3. 日本火災学会定款変更の審議 4. 平成22年度事業報告 5. 平成22年度収支決算報告および監査報告 6. 平成23年度事業計画・収支予算の審議 7. 平成23・24年度役員を選出 8. 会費長期滞納者の会員除名 9. 総会議事録の署名者の選出 10. 平成23年度日本火災学会賞及び内田奨励賞受賞者の報告と授与	報告 承認 議決 承認 承認・報告 議決 承認 議決 選出 報告・授与

エ. 臨時総会

開催月日	議事・報告事項	会議結果
平成24年 3月27日	1. 定足数についての報告 2. 平成24年度事業計画(案) 3. 平成24年度収支予算(案) 4. 東日本大震災調査委員会の中間報告 5. 公益社団法人認定経過の報告 6. 臨時総会の署名捺印者の指定	報告 議決 〃 報告 〃 選出

4) 許可、認可、承認、証明等に関する事項

本年度は該当なし。

5) 寄付金に関する事項

昨年に引き続き60周年記念事業に係わる寄附金を本年度は148万2千円を受け入れた。

6) 主務官庁指示に関する事項

平成23年12月末の平成23年度特例法人概況調査において以下の指摘があり、→で対応した。

- ① 公益事業基金に関する関係規程を提出すること。→内田記念基金・火災調査引当規程を提出した。
- ② 文部科学省立入り検査年度の修正 →平成23年8月に修正した。
- ③ 役員の同一業界関係者が2名居る資料提出して下さい。→役員一覧表を参照に修正していただいた。
- ④ 内田博士記念基金規程中に基金運用条文を設けること。→23年2月の理事会に諮り、是正した。
- ⑤ 学会基金(100万円)基金運用規程を策定する。→平成23年度に学会基金(100万円)取崩し解消する。
- ⑥ 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録などの決算書は、一般会計・特別会計毎に作成すること。→平成23年度決算書を予算書に合わせて、指摘事項の是正を図る。また、注記事項も同様とする。
- ⑦ 事業費支出割合が50%下回るよう是正すること。→平成23年度決算書において是正する。
- ⑧ 内部留保金が70%水準などで、是正すること。→上回る理由は、流動資産の繰越金、事務局整備積立金、学会基金などであるので、特に事務局整備積立金の使用用途を明確にする。
- ⑨ 有価証券が貸借対照表、財産目録などにその証券名が正確に記載されていないので、是正すること。→23年度決算書において是正する。

7) 会員の異動状況

会員種別	平成23年3月31日現在	平成24年3月31日現在	増減
名誉会員	5名	5名	+ 0名
正会員A	724名	723名	- 1名
正会員B	635名	625名	- 10名
賛助会員 (口数)	112団体 (134口)	109団体 (131口)	- 3団体 (- 3口)

8) 常置委員会の活動概要

ア. 総務委員会

- ア) 新公益社団法人を目指して、平成23年度通常総会の委任状を取り纏め、公益法人の認定に寄与した。
- イ) 事務局整備基金使用用途の素案を作成した。
- ウ) 新公益法人移行に向けて、顧問税理士を通じ、経理事務向上への各種事業を推進した。
- エ) 常置委員会などに、継続的な経費節減策を要請した。
- エ) 男女共同参画学協会連絡会にオブザーバーとして参画している。8月13日に開催した「女子中高生夏の学校」行事のポスターセッションに参加し、本会のPRと他学協会と情報交換に努めた。
- カ) 韓国火災消防学会間相互協定による、日本で開催した第8回日韓共同セッションの開催を支援した。

イ. 企画委員会

- ア) 新公益社団法人を目指して、定款改定案を立案し、公益法人化実行委員会と連携して平成23年度通常総会議案として提出し、公益法人の認定に寄与した。
- イ) 新公益法人後の細則に係わる各種規程の見直しを図り、改定の素案を年度内に纏めた。
- ウ) 学生奨励賞に係わる運用規定の素案を策定した。

ウ. 学術委員会

- ア) 研究発表会を計画、立案、準備、開催した。(1.1)ア.参照)なお、昨年に引き続きポスターセッション、オガナイズドセッションを設け、本格運用を図った。
- イ) 講演討論会を計画、立案、準備、開催した。(1.1)ウ.参照)
- ウ) 委員会傘下の9つの専門委員会の本格的な運用を行い、活発な委員会活動を推進した。
- エ) 平成24年度研究発表の受付として、電子投稿システムを導入し、年度内の受付を終了させた。

エ. 刊行委員会

- ア) 定期刊行物である、会誌「火災」及び論文集を編集し、出版した。
- イ) 一新したホームページ小委員会を活性化させ、ホームページの充実強化を図った。
- ウ) (独)科学技術振興機構が運営する J-STAGE を通じ、論文集論文の逐次掲載を継続して進めた。
- エ) 論文集投稿規程・執筆要領を英文でも投稿できるなどの改定を進め、海外に開かれた学会とした。

オ. 普及委員会

- ア) 火災科学セミナーをさいたま市と神戸市の2会場で計画、立案、準備、開催した。(1.1) イ. 参照)、今回開催の二都市において両会場とも300名を越え、充実したセミナーが展開された。
- イ) 普及活動の一環として、本会入会案内パンフレット等を活用して会員の入会促進に努めた。

9) 委員会の委員

ア. 常置委員会、専門委員会、小委員会の委員

総務委員会

長谷川晃一(委員長)、吉川昭光(副委員長)、村岡宏(幹事)、池田憲一、石井義明、田村裕之、成瀬友宏、村田明子、廖赤虹

[国際対応専門委員会] 山田常圭(主査)、成瀬友宏(幹事)、大谷英雄、土橋律、吉岡英樹、若月薫

企画委員会

山田常圭(委員長)、村上研一(副委員長)、森田俊一(幹事)、安藤俊雄、河野守、辻本誠、平井弘毅

[制度検討小委員会] 村上研一(主査)、安藤俊雄、河野守、平井弘毅

[事業検討小委員会] 休会中

学術委員会

北後明彦(委員長)、村岡宏(副委員長)、石原慶大(幹事)、池畠由華、岩田雄策、尾川義雄、吉川昭光、高黎静、佐野友紀、島津昭彦、田村裕之、土橋律、土屋伸一、中野主久、成瀬友宏、渡邊憲道、廣井悠

[化学火災専門委員会] 田村昌三(主査)、中村順(幹事)、板垣晴彦、岩田雄策、岡田勝、岡本勝弘、風間守、小船浩司、佐野蓉子、千葉光伸、名取晶子、益田豊、若倉正英

[自動車火災専門委員会] 鈴木仁治(主査)、渡邊憲道(幹事)、石原慶大、梅原寛、佐藤研二、城田剛、須川修身、諏訪正廣、高橋直人、田村陽介、畠中育久、土方忠道、松原美之、茂手木剛

[地震火災専門委員会] 北後明彦(主査)、岩見達也(幹事)、抱憲誓、鍵屋浩司、川村達彦、佐藤研二、鈴木恵子、高梨成子、成瀬友宏、西田幸夫、樋本圭佑、廣井悠、村田明子、山田常圭

[火災時の避難行動専門委員会] 萩原一郎(主査)、佐野友紀(幹事)、池畠由華、石突光雄、遠藤裕子、大宮喜文、掛川秀史、桑名秀明、新谷祐介、関澤愛、富松太基、能美隆、峯岸良和、山田武志

[火災時の有毒ガス専門委員会] 成瀬友宏(主査)、仲谷一郎(幹事)、高橋太(幹事)、岩澤昭一、小野美沙登、池上敬一、相良博典、東田千絵、徳留省悟、萩本安昭、前田純子、若月薫

[性能設計専門委員会] 田中哮義(主査)、山口純一(幹事)、池畠由華、抱憲誓、出口嘉一、仁井大策、野竹宏彰、間瀬亮平、吉岡英樹

[火災原因調査の科学技術専門委員会] 萩本安昭(主査)、田村裕之(幹事)、池田嘉典、石川勝蔵、岡泰資、笠原孝一、三瓶義章、下杉伸一、杉本良一、中田雅之、土方忠道、広瀬土之、松山賢、間宮浩之

[消火の火災技術に関する専門委員会] 齊藤直(主査)、尾川義雄(幹事)、猪俣忠昭、小谷英雄、川端義信、笹原邦夫、土橋律、松本洋一郎、廖赤虹

[文化財建造物防災専門委員会] 長谷見雄二(主査)、土屋伸一(幹事)、稲垣勝彦、金田節夫、後藤修、関澤愛、田中浩二、長尾充、林吉彦、万本敦

刊行委員会

板垣晴彦(委員長)、佐藤博臣(副委員長)、岡本勝弘、桑名秀明、齋藤直、土橋律

[火災誌編集小委員会] 佐藤博臣(主査)、篠原雅彦(幹事)、水野雅之(幹事)、大谷英雄、岡本勝



弘、久保田幸雄、鈴木圭一、齋藤直、佐藤研二、志田慎太郎、関澤愛、  
出口嘉一、魚津光憲、中川祐一、仁井大策、萩本安昭、万本敦、八木充、  
山下平祐

[論文集編集小委員会] 土橋律 (主査)、堀田博文 (幹事)、小林裕、佐藤研二、関澤愛、土橋律、  
仲谷一郎、萩本安昭、松山賢、山内幸雄

[ホームページ小委員会] 桑名秀明 (主査)、平井弘毅 (幹事) 池田憲一、江幡弘道、石原慶大、  
板垣晴彦、田村裕之、手塚康長、仲谷一郎、萩原一郎

#### 普及委員会

荒井伸幸 (委員長)、宇佐美幸彦 (副委員長)、玄海嗣生 (幹事)、中村眞一、若月薫、岡田和史、  
木村喜直、清澤敏治、根岸勇、星野安彦、吉原晴彦

#### イ. 特別委員会の委員

[学会賞選考委員会]

田中哮義 (委員長)、荒井伸幸、板垣晴彦、長谷川晃一、北後明彦

[内田博士記念基金運営委員会]

山田常圭 (委員長)、板垣晴彦、土橋律、長谷川晃一、北後明彦

[研究助成選考委員会]

北後明彦 (委員長)、板垣晴彦、土橋律、長谷川晃一、山田常圭

[情報公開審査委員会]

田中哮義 (委員長)、長谷川晃一 (副委員長)、田村裕之 (幹事)、荒井伸幸、板垣晴彦、吉川昭光  
北後明彦、山田常圭、

[受託事業委員会]

佐藤研二 (委員長)、田中哮義、長谷川晃一、吉川昭光、山田常圭、北後明彦、板垣晴彦、荒井伸幸、  
辻利秀

[受託事業実行委員会] (文化財の確実な継承と地域活性化活用のための防災指針の作成と普及)

長谷見雄二 (主査)、土屋伸一 (幹事)、稲垣勝彦、金田節夫、後藤治、関澤愛、  
田中浩二、林義久、林吉彦、古川容子、万本敦、村田信夫

#### ウ. 時限委員会の委員

[公益法人化実行委員会]

佐藤研二 (委員長)、長谷川晃一 (副委員長)、堀田博文 (幹事)、安藤俊雄、池田憲一、吉川昭光、  
萩原一郎、山田常圭

[学生奨励賞選考委員会]

佐藤研二 (主査)、廖赤虹 (幹事)、荒井伸幸、池田憲一、板垣晴彦、岡本勝弘、高黎静、佐宗祐子、  
佐藤博臣、関澤愛、田中哮義、土橋律、萩原一郎、長谷川晃一、道越真太郎

[東日本大震災調査委員会]

関澤愛 (委員長)、北後明彦 (副委員長) 五十嵐幸裕、池田憲一、糸井川永一、岩見達也、植竹徹、  
尾川義雄、吉川昭光、菊田清一、近藤史朗、齋藤直、佐藤研二、諏訪正廣、田中哮義、田村裕之、成瀬  
友宏、野竹宏彰、萩原一郎、長谷川晃一、樋口孝利、廣井悠、水野雅之、水落秀木、村岡宏、矢部康夫、  
山田常圭、山田實、渡邊憲道

以上

社団法人 日本火災学会組織図

平成24年3月31日現在

